

Project <span style="font-size: 2em; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">7</span> 地域協働専攻 国際協働グループ	地域プロジェクト（令和2年度前期～令和2年度後期）
	<h2 style="margin: 0;">哲学カフェ@函館</h2>

【メンバー】 [学 生] 小林 華韻/佐々木 将真/古東 柚希/田中 稜大/村林 采音/山田 綾乃/  
 中川 日向子/齋藤 諒英/加藤 流晟/小山内 凜/鈴木 六三志/関 留莉加  
 [担当教員] 菅沼 聡

**【背景】**

函館市において哲学カフェはほぼ皆無であったため、哲学カフェ・プロジェクトを継続的に行っていく。

**【目的】**

哲学カフェを開催することによって、市民との交流を図る。

**【概要】**

哲学カフェとは、一般の人たちが集まり、あるテーマについて、年齢・性別・国籍・肩書きなど関係なく、自由に議論・対話をするために開かれた場のことである。函館では、哲学カフェが開かれていなかったため、函館でも哲学カフェを開催し、地域との交流を図ることが本プロジェクトの趣旨である。

**【プロセスと成果】**

前期は、緊急事態宣言などのコロナ渦にあったため、哲学カフェ開催の見通しが立たず、哲学カフェのシミュレーションや他の哲学カフェはどのように行われているのかの調べ活動がメインであった。そのため、後期では、実際に哲学カフェ開催に向けての活動を行った。具体的なテーマ決めや、哲学カフェ開催を確実なものにするために、オンライン・オフラインそれぞれ両方の開催の計画・準備、そして、ポスター作りやビラ作り、新聞の取材などの広告活動を経て、12月17日にオフラインでの哲学カフェ開催に至った。

哲学カフェ当日は、新型コロナウイルス対策を万全に行ったうえで、12月17日の17時から19時に函館コミュニティプラザGスクエアで開催された。「時間にルーズな恋人かお金にルーズな恋人はどちらがいいか」や「コロナ患者と失業者のどちらを救うべきか」「犯罪に正義はあるか」などの17のテーマから1つを選び、1テーブル4人で15分間の討論が行われた。

プロジェクトの成果としては、アンケート結果から、参加者12人全員が『満足』という回答で、高い満足度を得ることができた。また、学生の進行についても参加者12人全員が『良かった』という回答で、中には、「話しやすい」や「時間がちょうどいい」という声があり、事前のシミュレーションの成果を発揮することができた。



2020年哲学カフェのポスター



哲学カフェ当日の様子



### 【総括と反省・今後の課題】

前期は、哲学カフェを開催することができなかったが、コロナ禍の他の哲学カフェの運営について調べ、知ることができた。

後期では、前期の活動を踏まえて、オンライン・オフラインそれぞれの哲学カフェ開催の準備、そして、消毒液や検温器の設置や部屋の大きさに応じたテーブル配置、飲食物の配布方法の工夫などの万全な新型コロナウイルスの対策を行ったことで、オフラインで哲学カフェを開催することができた。

哲学カフェ本番は、テーマを多く用意したことで、参加者の興味に沿ったテーマで議論することができた。また、前期・後期を通して、念入りなシミュレーションを行ったため、時間配分や話をうまく回すことができ、参加者に満足してもらえる結果になった。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者が見込めず、また、広告活動もうまくいかなかったため参加者が少なく、集められたデータ・感想・意見を多く得ることができなかった。このことから、今後の課題としては、積極的に小中高や大学などの教育機関や公共機関、企業等への広告、SNSやビラでの広告をより活発に行う必要があると考える。

### 【地域からの評価】

アンケートの結果から、参加者12人全員から『満足』という回答が得られ、また、『また来たい』という回答をもらった。そして、学生の進行については、高い評価が得られたが、一方で、選ばれたテーマの中で、『お金は人を幸せにするのか』と『持久走の距離を男女で分けるのは妥当か』は話しにくかったという意見もあった。

### 【その他】

#### 年間スケジュール

前期	6月19日	第1回「概要説明」
	6月26日	第2回「テーマ決め」
	7月3日	第3回「哲学カフェ開催にあたるシミュレーション」
	7月10日	第4回「オフラインカフェのリサーチ」
	7月17日	第5回「オンラインカフェのリサーチ」
後期	10月8日	第1回「テーマ決め」
	10月15.22.29日	第2回「オンライン・オフライン開催の計画・準備」 「宣伝の計画・準備」
	11月5. 12. 19. 26日 12月3. 10日	第3回「シミュレーション」 「新聞の取材」
	12月17日	第4回「会場設営の準備」 「哲学カフェの開催」
	1月14.21日	第5回「哲学カフェの反省」 「成果発表会準備」